

製品名: RANBP3 (10P2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16882**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	RANBP3
別名	Ran binding protein 3; RanBP3;
遺伝子 ID	8498.0
SwissProt ID	Q9H6Z4
免疫原	ヒト RanBP3 の合成ペプチド

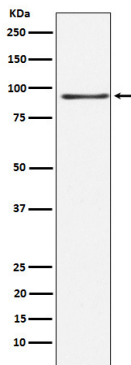
背景

XPO1/CRM1 を介した核外輸送の補因子として、おそらくは輸送複合体の足場タンパク質として機能します。XPO1/CRM1 に結合して、XPO1/CRM1 とカーゴの相互作用を安定化します。XPO1/CRM1 を介した核外輸送の補因子として、おそらくは輸送複合体の足場タンパク質として機能します。XPO1/CRM1 に結合して、XPO1/CRM1 とカーゴの相互作用を安定化します。Ran に結合した GTP がない場合、XPO1/CRM1 が核膜孔複合体に結合できなくなります。CHC1/RCC1 に結合して、CHC1/RCC1 のグアニンヌクレオチド交換活性を高めます。Ran 依存的に XPO1/CRM1 を CHC1/RCC1 にリクルートします。R-SMAD タンパク質、SMAD2、SMAD3 と相互作用して、それらの核外輸送を仲介することにより、TGF- β シグナル伝達の負の調整因子となります。

研究分野

-

画像データ



293 細胞溶解物中の RANBP3 発現のウエスタン プロット解析。